

「生徒が輝く日本一の小規模校」を目指して
自立した社会人の基盤づくり～「夢」・「規律」・「感謝」～



平成26年度矢板市立泉中学校だより【第10号】

中学「し、ずみ」

■発行/平成26年9月12日(金)

運動会 お世話になりました

で幕を閉じました。

今年は雨の日が多い上、本校校庭は極めて水はけが悪く水たまりがなかなか引かず、体育館での練習が主でした。しかし、本番の週はそういうわけにはいかず、9月3日(水)は1時間目から1時間かけて全校生で水取をした後に全体練習を、4日(木)も午後1時間ほど水取をしてから会場設営や種目練習を行いました。

しかし、当日は絶好の運動会日和。「オレらの魂 泉の底から湧き上げろ！」(2年の関谷佑樹さん発案)のスローガンのもと、白組団長 山口 輝さん、赤組団長 豊田健太さんを中心に、各色が一致団結して最後まで力の限りを尽くし、泉中生の「元気」を鼓舞しました。

大將戦で大いに湧いた伝統の騎馬戦「決戦！！泉の陣」、硬派の戦いとなった「応援合戦」、抜きつ抜かれつの展開で盛り上がった「全校リレー」、泉地区小中一貫教育の一環で泉小生が約40名参加した「パン食い競争」等、どの競技も例年以上に盛り上がりました。

9月6日(土)泉中学校の運動会が開催され、白組の勝利



9月4日(木)練習をするために、水はけの悪い校庭の水取をする生徒



「スローガンの看板」と「全校生」

2年目となる集団行動では雨が続き外での練習が思うようにできなかったにも関わらず、昨年度よりバージョンアップした演技を披露しました。特に、極秘裏に練習が進められた3年男子による「『腰を下ろして休め』のコマ送り」は、本家「日体大の集団行動」に勝るとも劣らないできばえで、拍手が一段と増しました。

白組が前半戦で大量のリードを奪う展開ながら、赤組は決して勝負をあきらめることなく全力で各競技に臨み続けました。そして後半、怒濤の反撃、勝負は最後の紅白リレーへ…。結果は白が逃げ切りましたが、泉中生の一段と増した心身の逞しさと団結力を象徴するにふさわしい運動会となりました。その中でも、3年生がすべての種目で常に大きな声を出し先頭に立ってがんばる姿は正に最高学年にふさわしく、9日(火)の朝礼で改めて賞賛しました。

保護者の皆様・地域の皆様、御協力たいへんありがとうございました。

震度 5 強 ⇔ 学校待機

9月1日(月)は防災の日でしたが、皆さんの家では防災

について家族で話し合い等を行いましたか？

あの3. 11 東日本大震災から3年半が過ぎました。その反省をもとに**矢板市として統一された対策**がとられました。その中から学校に関するものを掲載しますので御確認ください。

<注意> 1 震度の大きさは、気象庁が確定したもの

2 被害が大きい時でも、テレビ・PC・防災無線等で確認

震度の強さ	学校の対応	注意事項	備考
5 強以上	◆生徒は、 学校待機 →保護者の迎えによる下校 ＊市に自動的に「災害対策本部」が設置される ＊ 全職員参集 →市からの連絡がなくても参集	①「緊急連絡カード」に基づき確認 ②「引き渡しカード」に必要事項を記入 ③確認後、引き渡し	◆緊急連絡カードの記載内容 変更あり →速やかに 担任に連絡 ＊記載事項 忘れ → 担任に確認
5 弱	○原則、集団または個別での下校 ＊市内校長・教頭連絡体制実施	○「 通学路の安全点検 」を実施→下校 ○下校時の 巡回実施	○ 無事帰宅の確認 → 電話の活用
4以下	○状況に応じて適切に対応する ＊震度4以上→施設設備等自主点検		

「天災は忘れた頃にやってくる」といわれます。各家庭の確認をよろしく願います。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 家族の避難場所 | ＊自宅の場合の避難場所、自宅以外の避難場所 |
| (2) 電話連絡等がとれないときの連絡手段 | ＊例) 特定の場所に書き置きを貼る等 |
| (3) 必要な連絡先の住所と電話番号等 | ＊家族、親戚等 |
| (4) 非常食の保管場所とその日数 | ＊何人分×何日分 |

新人戦・合唱コンクールのお知らせ

9月19日(金)・20日(土) 栃木県中学校体育連盟主催

の新人戦の塩谷地区予選会が行われます。

7月の総体で3年生が引退した後、1・2年生は新キャプテンを中心に各部とも「県大会出場」を目標に活動してきました。最近自分たちで朝練をするなど各部で自主的な取り組みが見られます。いよいよその成果を発揮する時がやってきます。力一杯のプレーを期待します。

また、合唱部は9月25日(木)の地区学校音楽祭に向けて、最後の追い込みに入っています。目指すは、2年ぶりの県出場。岡田先生・植木先生が寸時を惜しんで熱心に指導にあたるとともに、夢の実現に向けて3年生を中心としたメンバー全員ががんばっています。

道徳・人権コーナー No.5

前回、学校での道徳の指導には2種類あることを述べました。1つは「道徳の時間」の指導、もう1つは「道徳的実践」の指導です。今回はこの2つの道徳の指導の相違等について表にまとめてみました。

項目	「道徳の時間」の指導	「道徳的実践」の指導
主たる指導時間	「道徳の授業」 ＊週1コマ	学校生活全体・国語等の授業
めざすもの	道徳的実践力=内面化 ＊心・知	道徳的実践=外面化 ＊行動
育成するもの	道徳的心情 道徳的判断力 道徳的実践意欲と態度	道徳的習慣 道徳的行為
ことばにすると	例) 「席を譲り」たい	例) 「席を譲ること」ができる

おめでとう！各種表彰・合格

- ◆地区中体連バレー新人シード決定戦(アサガオ杯)
 <女子の部> 4位
- ◆地区中体連新人水泳大会
 <2年男子> 50m自由形 1位(30" 17) 村上和寿
 100mバタフライ 1位(1' 12" 33) 村上和寿

駅伝大会へ向けて

駅伝部が**10月24日(金)**の**地区駅伝大会**に向けて

活動を再開しました。

一昨年・昨年の反省を踏まえ今年は駅伝部を部活動の延長ととらえ各部の代表で構成しました。夏休みも実施した持久力向上タイムを基本とした練習を重ねました。運動会練習のため2週間ほど練習がありませんでしたが、今週より再開しました。

9月22日(月)の校内持久走大会、そして10月8日(水)の校内駅伝競走大会を上手に活用して自己の能力を高め本番に臨む予定です。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。